

2013 No.145 おごおり
社会福祉協議会

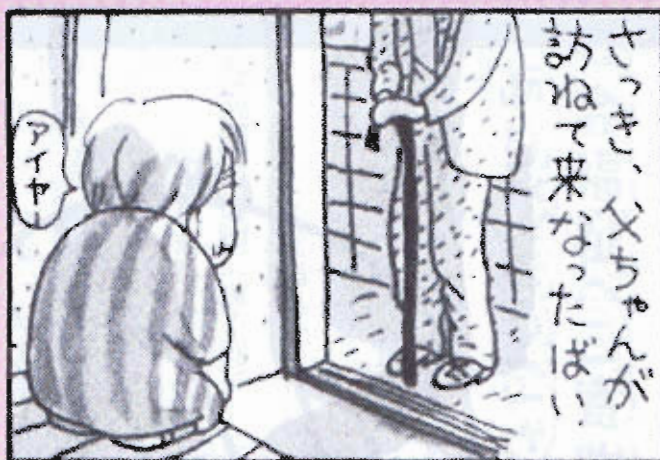
特集 ペコロス
が語る母

映画

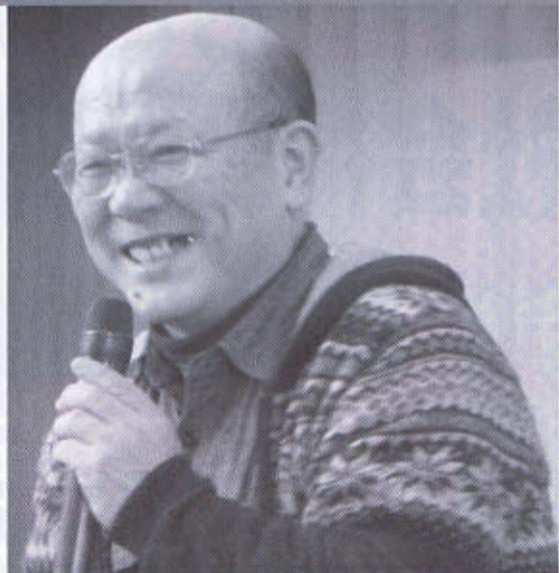
ペコロスの
母に会いに行く

長崎在住の63歳の漫画家が描いた
認知症の母親とのおかしくも
切ない物語が全国で感動を
巻き起こしついに映画化が決定！

3



© ペコロス岡野



岡野雄一（おかのゆういち）

長崎県在住、63歳の漫画家
西日本新聞火曜朝刊に連載中の「ペコロスの母に会いに行く」の著書で、認知症の母親「みつえさん」とのおかしくも切ない日々を描いた本作品は全国で話題となり、ベストセラーとなる。NHK・BSプレミアムでドラマが2月17日放送され、映画も10月頃全国公開予定！



H25
2/11

ペコロスの
おまへの

ペコロスの母に会いに行く

原作者が語る介護喜劇秘話

平成25年2月11日 小郡市総合保健福祉センターあすてらす
多目的ホールにて開催 当日参加約400名

ペコロスというのは

西洋玉ねぎの名前でちっちゃな
玉ねぎなんですけれども
友達から「ワイ（おまえ）に
似とるね」といわれ食べてみ
たらすごくおいしくて
小さくて禿^はげていて
美味しい人間になりたくて
ペコロスと名付けました



【加地さん】

介護をしている家族や介護職の仕事をしている方で、岡野さんの作品に共感をされる方が多く、最近、若い方からもよく話しかけられると聞いています。
 そうした反響が広がる背景で、皆さんが向き合われるを得ない介護の不安が広がっています。

【聞き手】 脳の健康教室
 ボランティア明日葉
 事務局長 加地良光さん

【岡野さん】

自分たち団塊の世代を中心とした親御さんは、介護される世代に入っています。

ほくは、いまだに何も知らないのですけれど、認知症になり始めた母と、6年間一緒に住んでいました。

今も大変なことがあるのですが、ある日、いつも早起きの母が、朝起きてこなくて、母親の部屋を開けたら足だけバタバタさせて、「あれ、あれ」と言っているんですね。けつこうひどい脳梗塞でそのまま救急車で運ばれ入院しました。入院してから、僕はいろんなことを学びました。

入院するまでケアマネージャーという言葉さえも知らなかった。介護や認知症という言葉をそれほど知らなくて、それからは、たくさんこのことを学びました。

自宅は長崎の山の中腹にあります。車いすに乗ったままの母も2、3か月したら退院しなければなりません。

認知の症状がすごく進み、ケアマネージャーから色々伺う中で、家に戻すと大変なことになるらしいので、とにかく施設を見て回ろうと思いました。

それまで、特養（特別養護老人ホーム）とグループホームの違いさえ知りませんでした。仕事が終わって、妻と一緒に施設をたくさん見て回りましたね。

施設を回ると、妻にしかスタッフの方が話しかけていないのです。入居するのが僕だと勘違いをされた様で、僕の方をちらちら見ながら「大丈夫そうなのだけ」といった声が聞こえてきて……。2、3か所の間違えられたようなこともありましたが、ちよつとムツとしたんですけれど（笑い）

そういうこともありまして、母が、天草出身ということもあり、天草の島影が見える海辺のグループホームを選び、母はそこに居ます。

【加地さん】

認知症が発症している様子が見受けられることがたびたびあったと思いますが、ちよつと、お母様のご様子が変わらなあと、どんな時から感じられましたか？

【岡野さん】

ときどき僕の名前が出てこなかったりしたり、一緒に暮らしているところから、「父ちゃんがなごー帰って来んけど」と言ったり、使用しな下着をどんどんタンスの奥にしまい込んだり始めて；発見するたびに洗っていたのですけれど、ケアマネさんに、認知症の方の典型的な症状だったと後でお聞きしました。

あと、「お金がなくなつた、財布がなくなつた」といったことがよくありましたね。「雄一返せ」と言われ；、確かに、若いころから僕にお金をかけてもらっているもんですから、「返せ」と言われたら、いろんな思いで「マごめんね」としか言いようがないですけれど；、謝ると「ほらやつぱり」と言われたりして、笑い話ですね。

【岡野さん】

グループホームに母を入れられた。

入れる時に親戚から「おまえは親を見捨てた」とか言われたことありまして、自分の中にもそんな思いがありました。

けれど結果的に母をあずけて良かったと思います。

とにかく、スタッフの方たちが良くやって下さいます。

もし僕が家で見ていたら、いろんな意味を含めて、母はダメになつていられるかもしれないと思う気持ちがあります。

母をあずけて会いに行くということで、漫画のタイトルは「ペコロスの母に会いに行く」。

つまり、自分は母と同居しているのではなく、自分を卑下するというタイトルなんですけれど、それも含めて「いいんです」とおっしゃっていただけることで、救われることがあります。

母に会い
岡野雄一



【加地さん】

いつもお母様の好きな花を持っていけるそうです。

【岡野さん】

ユリを持っていきますね。母の部屋のユリが枯れないことが基準ですかね。

何もない場合は週に2回会いに行っています。

母が寝込んだりすると、とにかく、自分が後悔しないように毎日通いつめたりしています。

【加地さん】

そして、お母様とのコミュニケーションの手段が、まさにマンガのシーン。

【岡野さん】

ある日、母がちよつと不穏の表情があつて、母の車いすを押している最中、母が叫ぶので、僕が車いすの前に回つて、母の前で帽子を外したら、僕の頭を手でペタペタとやって「雄一やんか！」



【加地さん】

長崎で今、映画『ペコロスの母に会いに行く』の撮影が進んでおりまして、本日はプロデューサーの村岡寛彦さんに来ていただきました。

【村岡さん】

もともとこの企画は、東映や東宝、松竹といった大手映画会社が、予算があつてつくる映画ではなく、原作本があつて、これを是非、みんなの力で映画にしたいとの思いで、インターネットなど、さまざまな呼びかけをした皆様おひとり、おひとりのご支援で映画が出来ています。

今回の映画の撮影や照明スタッフは、アメリカのアカデミー賞外国語映画賞を受賞した『おくりびと』のスタッフ、まさに日本を代表する映画人がこの映画に携わっています。大変美しい、そして素晴らしい映像をお届けできると思います。

なにより、この映画のテーマが認知症・介護ということで、あまり重たくなってしまうようにと、森崎監督に「ペコロスの母に会いに行く」を手がけていただきました。森崎監督は、もともと喜劇の監督で『男はつらいよ・フーテンの寅』の監督をされていて、日本で喜劇を振替へたら、この人の右にできるものはいないと言われています。

この「ペコロスの母に会いに行く」も最後まで、笑いながら、泣きながら、楽しみながら、観終わった後は気持ちがあほこりして映画館を出ていただけるような内容になっています。

【加地さん】

認知症の高齢者が300万人を超えていると言われ、この問題がもっと大きくなっていくと思います。

そのような中で岡野さんのメッセージを全国の多くの方が待っています。

【岡野さん】

本当にこんな壇上で大それたことは言えないのですけれど、こういう漫画をつくっている人間として、とにかく自分も大切にしながら親も大切にしたい。これが一番難しいですけれど、自分を大切にすることでしかいろんなことがあり得ないと思います。

親孝行な方ほど一緒に共倒れすると聞きますので、利用できるものは、とことん利用して、自分の時間をちゃんと作って、本当に難しいけれど、



脳の健康教室「ボランティア明日葉」の皆さん

自分を大切にした上で、親御さんを見てほしい、あずけることも含めて、介護をしてほしいと思います。

偉そうで、すいません。今日は、お忙しい中、たくさんの方にお越しいただいて、誠にありがとうございます。

映画も、是非、楽しみにして下さい。よろしくお願います。

「脳の健康教室」13期生募集 4月スタート!

読み書き計算の学習・健康運動指導・音楽教室・イベントなど多彩なプログラムで、一年間を通して健康を維持するための高齢者交流事業です。

教室 毎週金曜日

- ① 9時30分～10時05分
 - ② 10時10分～10時45分
 - ③ 10時50分～11時25分
- 学習時間は30分程度

※毎日取り組める自宅学習教材を配布

対象 自分で教室に通える65才以上の方

費用 月額2,500円(教材費等)

会場 小郡市総合保健福祉センター

あすてらす

締切り 3月末まで

(定員30名になり次第締め切り
ます)

【申込み・問合せ】

小郡市社会福祉協議会

☎ 73・1120



「脳の健康教室」の ボランティアサポーターを 募集しています。

・日程 毎週金曜日

午前8時45分～正午

・対象 毎週活動できる50歳までの方

※交通費支給

【申込み・問合せ】

小郡市社会福祉協議会

☎ 73・1120

タイムケアの利用者を募集します

タイムケアサービスは、障がい児の放課後や長期休暇中の居場所づくりを目的とするものです。学校でもない、家庭でもない時間の中で、ボランティアとの交流や色々な体験を通して、日頃と違った表情の発見や成長につながればと、週に1回行っています。4月からの利用者を募集します。

- 実施場所：あすてらす（会議室2）〔第4水曜日は人権教育啓発センター〕
- 定員：10人程度
- 日時：毎週水曜日 15時～18時（長期休暇中 10時～16時）
- 利用者負担：1回の利用につき500円負担（長期休暇中は1,000円）
- 送迎：迎えについては、必要に応じ実施
- 対象者：小郡市在住の障がいのある小・中学生・高校生 *登録制です
- 締切り：3月29日（金）
- 申込み・問合せ：小郡市社会福祉協議会 ☎ 73-1120



登録ボランティア募集中

毎週水曜日の午後3時から6時までの3時間を、障がいのある子ども達と一緒に過ごしていただく高校生以上のボランティアスタッフを募集しています。

ご都合のよい日だけでもかまいません。
申込みは随時受付けています。

【申込み・問合せ】小郡市社会福祉協議会 ☎ 73-1120

手話

受講生募集

はじめてみませんか？

手話奉仕員養成講座

(入門課程)

小学校の総合学習でも取り入れられている手話。

すこしずつ解っていけばどんどん楽しくなり、いろんな方とのコミュニケーションがとれて、世界がぐっと広がります。



- 日時 5月14日～10月29日までの毎週火曜日 (全24回) 午前9時30分～11時30分
- 会場 総合保健福祉センター
「あすこりす」2階 会議室3
- 定員 50名(定員になり次第締め切ります)
- 受講料 1,500円(テキスト代含む)
- 修了資格 全日程の70%以上出席すること
- 申込先 小郡市ボランティア情報センター
☎・FAX 733・1131

※講座修了後、手話の会に入会していただきボランティア活動に参加をお願いします。

小郡おもちゃ病院

快調にスタート!!

おもちゃを大切に育てよう

小郡市におもちゃ病院が開院しました。

1月11日の開院初日から大盛況、目の前で病気全快のおもちゃを見て「ワァーすごいね!」と歓声があがっていました。

また、部品取寄せ等で入院となったおもちゃは、後日取りに来ていただきます。

退院したおもちゃをお渡しする時、いろんな思い入れのあるおもちゃの回復に嬉しそうな顔をされ、とても温かいものを感じています。

今後月に一回、ボランティアのおもちゃドクターによって開院します。どうぞお気軽にお越しください。

- 日時 毎月第2金曜日 13時～16時
※受付15時30分まで
- 会場 小郡市総合保健福祉センター
「あすこりす」2階ボランティア活動室
- 診察料 初診料として
おもちゃ1個につき100円
- 問合せ 小郡市ボランティア情報センター
☎・FAX 733・1131

*交換部品代は実費です



赤い羽根

共同募金運動

ご協力ありがとうございました

昨年10月1日から12月31日までの赤い羽根共同募金運動にご協力いただきましたありがとうございます。

皆さまの温かいお気持ちは、25年度の地域福祉活動に活用させていただきます。



共同募金実績

(平成24年度 実績報告)

(単位:円)

戸別募金	6,635,350
法人・個人募金	1,652,942
街頭募金	102,787
学校募金	192,057
設置箱募金	97,039
自動販売機募金	59,030
有料資材	1,196,230 (原価代金480,858)
預金利息	403
合計	9,935,838

じよいわーく

小郡市障害者 地域活動支援センター

障害の種別に関係なく、障害のある方が地域の中で生活できるよう、創作的活動や生産活動の機会の提供や社会との交流の促進を図っています。

小郡市小郡1510-1
一品香の東側
☎ 73-0293

開館日/月曜日～金曜日(祝日は休み)
午前9時～午後3時

新しい仕事に チャレンジング ナウ!

今回、新たに「ねじ揃え」の仕事を始めました。鳥栖市にある「八幡ねじ」のバッグ作業です。

いろんな長さのねじを透明の惣菜パックやビニール袋に決められた本数を詰めていく仕事です。

どちらもホットキスを使って留めていきます。細かな作業内容として、

- ① 大きなねじや透明パックにシールを貼る作業
- ② ねじを透明パックに詰める作業
- ③ 本数を数える作業
- ④ 重さを計る作業
- ⑤ ホットキスで留める作業
- ⑥ 箱に詰め込む作業



等に分かれます。それぞれの作業について利用者の方の能力に合った適切な作業を担当しています。

一週間に一回、木曜日に納品と次の仕事の分をもらいにいきます。「八幡ねじ」は、全国のホームセンターなどに殆ど置いてありますので、仕上がりを見ることが出来ます。興味のある方、作業見学をされた方、いつでもお気軽にお立ち寄りください。

居宅介護からちょっとアドバイス!

ケアは健康の秘訣

口は健康の入口

口腔ケア

「ブクブクうがい編」

食事が「おいしい」「楽しい」と思う気持ちが、生きる意欲につながり明日への糧になります。この食べる営みを支えているのが健康な歯と口の機能です。いつまでも自分の歯で楽しく食事をするために口腔ケアを習慣づけましょう。

「うがい」には咽喉頭のための「ガラガラうがい」、口の中のための「ブクブクうがい」があります。今回は「ブクブクうがい」についてお伝えします。

ブクブクうがいの効果

① 歯周病を防ぐ

歯磨きの後のうがいは、口の中に残った食べかすや歯垢を洗い流すことにより歯周病の予防に役立ちます。

② 誤嚥性肺炎の予防

口の中の細菌を減らせるため、高齢者に起こりやすい誤嚥性肺炎の予防にも有効です。食後の歯磨きが難



しい場合は、「ブクブクうがい」で口の中を清潔に保ちましょう。

③ かむ、飲み込む機能を保つ
食事をおいしく食べるには、嚙んで飲み込む機能が働かなければなりません。ブクブクうがいは、口や喉の周りの筋肉を鍛えるとともに、顔の表情も豊かにしてくれます。

「ブクブクうがい」の仕方



水かぬるま湯でしますが、お茶やレモン水など身近なものや洗口剤などを気分や用途に応じて使い分けをするのもいいですよ。

緑茶
抗菌作用がある



レモン水
(数滴)
口の中をさっぱりさせたいときに



洗口剤
むし歯や歯周病の予防や口臭に有効なものなどさまざまなタイプがあります。

ブクブクうがいは、

- ・口を開けて行いましょう・すすぎ水は吐き出します
- ・けっころ、顔の筋肉をつがいます、無理しないでくださいネ



① 全体にブクブク



② 右のほほでブクブク



③ 左のほほでブクブク



④ ちびるの上でブクブク
下でブクブク

パートタイム ホームヘルパー 随時募集 います

▼資格/65歳までの方でホームヘルパー養成研修2級課程以上の修了者の方で、自己所有車両で訪問活動が可能な方

▼賃金/

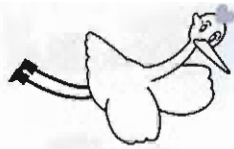
時給平日1,000円

土・日・祝日1,100円

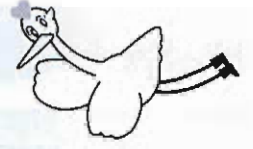
【問合わせ】

小郡市社会福祉協議会

☎ 73-1120



ウエルファ通信



赤

くて丸い郵便ポスト、なつかしかあ～！

寺福童区木村商店前に設置されてから40年近くなるそうです。何度か塗り替えられ、きれいな立ち姿を保ちながら現役活躍中です。

この丸型ポストは、「郵便差出箱1号」が正式名称。終戦後、物資の入手が軌道に乗るようになった昭和24（1949）年から鉄製ポストが日本各地に設置されました。それから60年余り、時代の流れで型や色は幾度か変わり、現在は「郵便差出箱14号」四角い箱型のポストが多く設置されています。電子メールでのやり取りが頻繁な今日この頃ではありますが、時には手紙を書いてポストに託し、届く日を楽しむのもいいですね。



郵便ポストのはじまり

郵便ポストの始まりは明治4年、手紙を集める箱「書状集箱」として四角い木箱が設けられましたのが始まりです。

25年度小郡市社会福祉協議会

賛助会員ご加入をお願いします

皆さまからご支援いただきます会費は、小郡市社会福祉協議会の福祉事業

- 高齢者世帯や要介護世帯が地域で孤立、無縁にならないように見守り
 - 車いす対応車輛の貸出し
 - ボランティア情報センター運営
 - 障がい児の放課後の一時預かりタイムケア
 - 社会福祉協議会だよりの発行などに活用させていただいております。
- 皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
- ◎団体会員 1回 5千円 ◎個人会員 1回 1千円
*何回でも加入いただけます。

- 〔個人会員〕
- 江崎 慎一 秋吉 孝治
吉野 アイ子 久間美智子
吉野 聡師
田中 和夫
吉野 岳男
足立 光史
国武 貞徳
- 〔団体会員〕
- 西島区
老人クラブ

平成24年度会員
ご加入ありがとうございました
ございました

平成24年12月16日
平成25年2月28日現在
（順不同・敬称略）

福祉バス「さちかぜ号」

利用のお願い

安全運行を第一に考え、無理のない計画とバスの安全管理を徹底しています。

利用の際には、以下のご理解とご協力を願います。

◎利用回数の制限

利用回数に偏りがないように年度内の利用回数を一団体5回までとします。

◎利用対象

- ・社会福祉協議会が行なう事業
- ・小郡市内の福祉活動に寄与するボランティア団体
- ・小郡市内の福祉団体（老人クラブ、民生委員児童委員協議会・障害者福祉協会・母子寡婦福祉会等）及び小郡市内の施設（保育園・障害者施設・高齢者施設等）

・乗車定員10人以上、28人まで

◎利用時間

月曜日～土曜日（日・祝日を除く）
午前9時～午後5時

◎予約受付

利用日の2ヶ月前の1日より受付

◎無理のない計画と目的地の設定

利用時間が決まっていますので、無理な遠距離計画はお控えいただきますようお願いいたします。申込み計画以外の立ち寄り運行は致しません。

◎マイクロバスは、狭い路地や駐車場には入らないことがあります。目的地の事前把握をお願いします。

福祉バスをご利用の団体様には、社協賛助会員団体加入のご協力をお願いしております。

あなたの悩みを心配ごと相談へ

相談事業は、心配ごと・困ったことなど住民の生活に関わる様々な問題を気軽に無料相談できる窓口です。



- ◆場所 小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」1F相談室
- ◆日時 毎週木曜日 午後1時～4時
- ◆体制 心配ごと相談（第1、3、5木曜日）は、相談員2名で対応します。
弁護士相談（第2、4木曜日）は、弁護士1名と相談員2名が同席対応します。
なお、相談日が祝日の場合は翌日に行います。詳細は社協窓口でお尋ねください。
- ◆お願い 弁護士相談の申込みは下記の日程表の通りです。電話【73-1120】による受付予約制（先着6名まで）で、来所による受付は行っておりません。
また、希望者が多く相談をお受けすることができない場合があります。

3月の相談日程

7日	心配ごと相談〈予約不要〉
14日	弁護士相談 *予約日:3/7(木)午前9時～
21日	心配ごと相談〈予約不要〉
28日	弁護士相談 *予約日:3/21(木)午前9時～

4月の相談日程

4日	心配ごと相談〈予約不要〉
11日	弁護士相談 *予約日:4/4(木)午前9時～
18日	心配ごと相談〈予約不要〉
25日	弁護士相談 *予約日:4/18(木)午前9時～

5月の相談日程

2日	心配ごと相談〈予約不要〉
9日	弁護士相談 *予約日:5/2(木)午前9時～
16日	心配ごと相談〈予約不要〉
23日	弁護士相談 *予約日:5/16(木)午前9時～
30日	心配ごと相談〈予約不要〉

無料相談会のお知らせ

行政書士による 無料相談会

- ◎ 3月23日(土)
 - ◎ 4月27日(土)
 - ◎ 5月25日(土)
- 任意後見制度、遺言・相続・年金・労務について相談に応じます。
- 【時間】 13時～16時まで ※予約優先
- 【場所】 小郡市総合保健福祉センター
あすてらす
- 【問合せ先】 ぐらし士援の会わかば
☎0942・45・5600
(福島法律事務所)

税理士による 無料相談会

- ◎ 4月2日(火)
 - ◎ 5月7日(火)
- 法人税、所得税、消費税、相続税等その他税金の悩み事の相談。
- 【時間】 13時～16時まで ※予約優先
- 【場所】 小郡市総合保健福祉センター
あすてらす
- 【問合せ先】 藤井税理士事務所
☎0942・72・4322

行政ホットライン 弁護士による 行政についての法律相談

- ◎ 3月23日(土) 11時～15時
- 電話による相談
3月23日14時30分までに特設ホットラインに電話ください。
- ☎092・724・2644
- 面接による相談
要予約(3月4日より受付開始)
予約専用窓口
☎092・741・6416
- 詳しくは福岡県弁護士会HPをご参照ください。

『認知症』 電話による無料相談

- 介護を一人で抱え込まないで、小さなことでもまずはお電話下さい。
- ◎ 火曜・金曜日 介護経験者
 - ◎ 木曜・土曜日 保健師
- 10時～16時の間、電話相談お受けいたします。
- 【相談専用】
☎092・584・3317
- 【問合せ先】 福岡県社会福祉協議会
評価・相談課

社会福祉へご寄附

ありがとうございます



次の方々から温かいご寄附をいただきました。
この寄附金は、市内の福祉向上のために大切に使用させていただきます。

(平成24年12月20日〜平成25年2月28日)

●香典返し寄附(順不同)

故人とられました方のご冥福を心からお祈り申し上げます。

- 横限区 平田 俊治様 (故妻淑子様)
- 八坂区 河原 幸子様 (故夫勝儀様)
- 二森区 前田 靖子様 (故叔母富山ミツ様)
- 大原区 川口 静江様 (故夫大様)
- 二夕区 大石さゆり様 (故祖母サトミ様)
- 大崎区 肥山 和子様 (故夫徹様)
- 大原区 鬼塚 晃己様 (故母石松如月様)
- 三沢区 木部 豊子様 (故夫静哉様)
- 三沢区 小野千鶴子様 (故夫昭典様)
- 駅前区 黒木 満義様 (故姉ハル子様)
- 開一区 見野 一美様 (故夫覺次様)
- 宝城北区 山下エツ子様 (故夫光義様)
- 二森区 樋口モモエ様 (故夫弘様)
- 二森区 大中 増雄様 (故母ミサオ様)
- 三国が丘2区 志岐 彦志様 (故妻ユリ子様)

●一般寄附

- ・上西区 廣瀬 崇様
- ・みちくさ映画鑑賞会
- ・小坂井2区 匿名
- ・三沢区 匿名
- ・新町区 匿名

●物品寄附

- ・新町区 匿名

お香典返しをする代わりに、

「故人の遺志を社会のために活かしたい」

ご遺族の皆さまのお志により、

お香典の一部を寄附していただいております。

ご希望によりお礼状をご用意させていただきます。

東日本大震災義援金実績

3,392,217円

3月6日現在

ありがとうございます

●健康ヨガ教室 (2月24日開催分)

震災の支援活動として「チャリティーヨガ教室」をこれまで12回にわたって開催。参加数は延べ884人、開催毎にお預かりしています。義援金は、中央共同募金会を通じて震災支援に活用されております。

主催の松島さんは「微力ではありますが、教室に参加いただいている皆さんと一緒に長く支援をさせていただこうと思っています」と、今後も2ヶ月に一度のチャリティー教室を開催予定。(次回の教室は4月7日予定)



窓口設置しています募金箱にもたくさんのご協力をいただいています。引き続きご支援をお願い致します。

※お詫びと訂正 小郡市社会福祉協議会だより No.144 1月号

わが町の元気(印) P3 高木太二さん「1928年生まれ」と訂正してお詫びいたします。